元センサ研究者の拘り

DogNose通信（14） 2016-12-28

DogNose永遠のルーキ：Luke

センサ研究開発コンサルタント
・課題解決型のセンサ開発
・シーズベースのセンサご提案

DogNoseセンサ技研

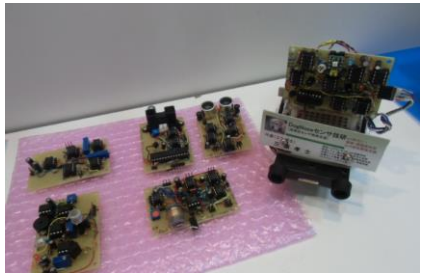
代表　三原　孝士（工学博士）　東京都西東京市

mihara.dognose.sen@gmail.com

http://dognosesens.web.fc2.com/

News：
（1）2つの展示会でDogNoseセンサ技研を出展展示を行いました。
（2）2017年も宜しくお願いします。
（3）試作例：
　　LCRメータを導入しました。

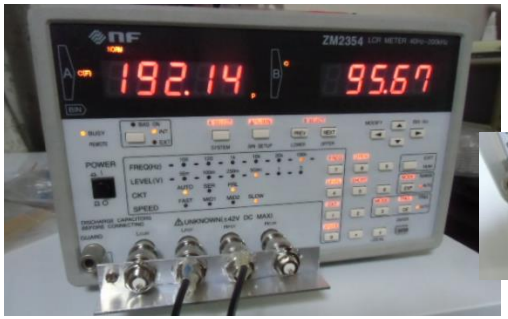
今まで、展示会の片隅に制作物を展示したことはありましたが、本格的は展示経験はありませんでした。この秋は、生まれて？初めて私個人の事業で（事業名を表記しての）展示会出展を果たしました。しかも、2つ、最初は9月28-30日のセンサEXPO、もう一つは10/31,11/1-2の新価値創造展（何れも東京ビッグサイト）です。これは審査に通って格安で展示できたもので、事務局に感謝しています。技術支援の展示なので、大きな目玉もなく、沢山のお客様を呼び込みことは出来ませんが、それでも毎日50枚以上のチラシを持って行ってくださり、名刺も100枚位は交換して頂きました。でも、やはり感じたのは、デモや展示物の訴求力が（圧倒的に）弱いということです。



展示ブースでの説明

DogNose今回の製作例：
LCRメータを導入しました。

センサ開発でも、特に計測対象として有益なのは容量計測です。今まで使っていたチップ部品の簡易LCRメータでは、本格的な容量計測は限定的でしたので、NF回路設計ブロックのLCRメータ（ZM2354)を導入しました。周波数や駆動振幅、電圧オフセット、等価回路等を変更出来て高い安定性を持っています。これには4端子を2端子プローブにする為のテストフィクスチャーが必要ですが、このジグの方が、本体より高価です。そこで写真のように自作しました。



導入したLCRメータと、自作テストフィクスチャー